

6年生の日光移動教室を終えて

6月実施予定であった、6年生の日光移動教室を12月10日(金)～12日(日)までの3日間、実施することができました。夏に向かう日光ではなく、初冬の様子の日光を視覚的にも感覚的にも感じる事ができた3日間となりました。

移動教室では、日常の学校生活では味わうことができない集団行動や生活の中で、学習的な内容はもちろんのこと、社会性を学ぶ機会としても大きな意味合いをもっています。子供たちが楽しみにしている旅行的・遠足的な感覚だけではなく、人としての成長を図る上でも大切な機会となり、卒業を目指していく6年生にとって、小学校生活最後の忘れ得ぬ思い出の1つとなります。

本来であれば、5年生の時に宿泊行事を経験し、6年生に向けての準備として、集団行動や生活を体験しておくことができるのですが、コロナ禍の影響により昨年度は実施できていません。今回の移動教室が宿泊行事として経験し、活動することになる初めての取組となりました。

バス等による移動の苦手な児童やご家庭を離れて宿泊することが初めての児童、体調管理に配慮を要する児童など、様々な状況がある中で子供たち一人一人が楽しく、有意義な時間となるように、担任をはじめ、本校の全教職員の様々な関わりや準備の中で当日を迎えました。

特に、保護者の皆様には、冬の日光での移動教室のため、冬用の荷物に始まり、子供たちの健康管理、生活における配慮的事項等、こまごまとした準備をお願いするところとなりました。お陰様をもちまして、大きな体調の崩れもなく、全員が元気に帰ってくることができたことは、一番安堵したところでした。

また、今回の行程においても、できるかぎり、ゆったりとした時間での計画とさせていただきました。子供たち一人一人の特性や状況も考え、時間に追われた見学とならないように移動の時間も余裕をもたせました。また、車に慣れていない子どもが多く見受けられたこともあり、綴れ織りのいろは坂を下るところでは、運転手の方にスピードを落とす等の配慮していただくなど、看護師や添乗員、バスガイド、運転手等々、様々な関係者の方にもご尽力をいただき、大成功ととってもいい移動教室でした。この場をお借りして、多くの方々にご尽力をいただいたことに改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

現在、来年度の学校行事等を検討し、移動教室も計画しているところですが、現段階では例年と同じ6月実施で、バスで行く予定です。コロナ禍の状況が今のようになり落ち着き、収束に向かうことを切に願いながら、本校の大きな教育活動の1つである移動教室を計画、準備してまいります。

日光の自然フォト

移動教室の3日間は、ほぼほぼ天候にも恵まれ、男体山もくっきりと見えていました。

ただ、2日目は、山の天気の変わりやすさを体験し、晴れていたかと思うと、雲が湧き上がり、霧雨から雪へと変化したり、また、雲が晴れて太陽が顔を出したりと、自然の急変する山の天気を感じることができました。

最終日の朝に見た男体山



そんな中で、撮影した写真をいくつか、ご紹介いたします。バスの中からのものもあり、上手く撮れていないところはご容赦ください。(ホームページでは、カラーでご覧いただけます)



初日の華巖の滝



華巖の滝にいたニホンカモシカ



夕景の中禅寺湖



ホテルの中庭に残る雪景色



日光自然博物館前の勇壮な男体山

校長のつぶやき

この令和3年の出会いに感謝を込めて

今年も早いもので、12月23日(木)となりました。明日で2学期が終わります。

この4月に国立第七小学校に着任し、あっという間に令和3年を終えることになりました。試練と呼ばれるこのコロナ禍の国難の中で、教育現場は、大きく変化を求められ、また、迅速な対応が必要な状況にもなりました。

校長職になって今年で4年目ではありますが、その職歴の半分において、コロナ対応が占めています。従来の学校教育ではない、新しい生活様式を基にした新たな形式での学校教育の経営や運営を、今いる教職員と共に未来を生きる子供たちのために創造し、動かしていくこと。険しい道ではありますが、ある意味では、充実感の伴う未来を見据える夢や希望があり、そして、様々な取組を判断し、実行していく勇気をたくさん湧き立たせていく日々でもあります。校長としても人としても試されているような気がしています。

まだまだ、簡単に収束することはないと思いますが、マイナス思考からプラス思考へ、ピンチをチャンスに、そして、冬は必ず春となるように、自身の心の力を高めながら、開校50周年の佳節を迎える本校の令和4年を迎えていきたいと思っています。

この4月より、保護者の皆様、見守り会をはじめ地域の皆様、学校評議員の皆様、PTAの皆様、そして、教職員、国立第七小の子供たちとの出会いに、心から感謝しております。まずは、御礼申し上げます。ありがとうございました。本校校長として、更に自身を磨きながら、本校の発展と前進のために、これからも力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

皆様、良いお年をお迎えください。